

授業科目

成人慢性期看護学演習

担当教員名 目黒 優子、北島 昌樹	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	○

授業の概要

本演習は、チーム基盤型学習 (team-based learning : TBL) にて演習を進める。TBLとは、1980年代に編み出された教育手法である。学生一人一人が自分自身とグループに対して学習の責任を意識することで、単なる人の集団である“グループ”から同じ目標に向かってともに学ぶ“チーム”へ成長していくことが期待される。本演習は「予習」(個人学習)、「準備確認」(個人テスト/チームテスト)、チームからのアピール、教員によるフィードバック)、「学習内容の応用」(応用重視の演習課題)という一連の学習活動のプロセスを踏む。糖尿病患者および慢性腎不全患者の看護問題を導き出すために必要となるフィジカルイグザミネーションの検討、シミュレータでのフィジカルイグザミネーションの実施、患者の状態をアセスメント、SBARを用いての報告、看護計画の立案、立案した看護計画の中から実際に患者に実施する、までの一連の展開を実践する。また、学生自身の日頃の生活をモニタリングし、その体験を通して、慢性期にある患者のセルフマネジメントを追体験し、その体験から慢性期にある患者への配慮について考察を深めていく。

授業の目的

慢性の病いとともに生きる成人期にある対象者へのセルフマネジメント支援の実践について演習を通して習得することを目的とする。

学習目標

1. 患者の状態に応じたフィジカルイグザミネーション (問診・視診・触診・聴診) 技術を実施することができる。
2. フィジカルイグザミネーションを実施して得られた情報から患者の状態をアセスメントし説明することができる。
3. SBARを用いて患者の状態を報告することができる。
4. 自己血糖測定が安全に実施できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	1. 演習の進め方・TBLについて (チーム内での活動も含む) 2. 慢性期にある患者	講義	北島 昌樹
2	1. IRAT/GRAT (糖尿病に関する個人事前テスト/チーム事前テスト) 2. 事例1紹介 (Tさん) 3. セルフモニタリング用紙に沿って、自己の日常生活を7日間記録し、後日提出する 4. SBAR	講義・演習	北島 昌樹
3・4	1. Tさんの情報から、フィジカルイグザミネーションの計画を立案する<チーム検討>	講義・演習	北島 昌樹
5・6	1. Tさんにフィジカルイグザミネーションを行う 2. 得られた結果から、Tさんの状態をアセスメントする<チーム検討> 3. Tさんの状態について、SBARを用いて報告する	講義・演習	北島 昌樹
7・8	1. Tさんに必要なエデュケーション・プラン (EP)を立案する<チーム検討> 2. 立案したEPを実際にTさんに実施する 3. 事例1のまとめ 4. 事例2紹介 (Nさん)	演習	北島 昌樹
9・10	1. IRAT/GRAT (慢性腎不全に関する個人事前テスト/チーム事前テスト) 2. Nさんの情報から、フィジカルイグザミネーションの計画を立案する<チーム検討>	講義・演習	北島 昌樹
11・12	1. Nさんにフィジカルイグザミネーションを行う 2. 得られた結果から、Nさんの状態をアセスメントする <チーム検討> 3. Nさんの状態について、SBARを用いて報告する	講義・演習	北島 昌樹
13	自分自身の血糖値を簡易血糖測定器を用いて実施する	演習	北島 昌樹 他
14・15	1. Nさんに必要なエデュケーション・プラン (EP)を立案する<チーム検討> 2. 立案したEPを実際にNさんに実施する 3. 事例2のまとめ	講義・演習	北島 昌樹

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	成人看護学 慢性期看護論 第2版	鈴木志津枝、藤田佐和	ヌーヴェルヒロカワ	2009年	2,400円 +税	
	慢性疾患を生きる ケアとクオリティ・ライフの接点	南裕子 監訳	医学書院	2001年	3,600円 +税	
	系統看護学講座 成人看護学6 内分泌・代謝	吉岡成人	医学書院	2015年	2,100円 +税	
	ナーシング・グラフィカ 成人看護学 3 セルフマネジメント	安酸史子、鈴木純恵、吉田澄恵	メディカ出版	2015年	3,000円 +税	
その他の資料						

評価方法

チーム内での取り組み：30%、定期試験：30%、レポート課題：30%、ピア評価：10%

履修上の留意点

初回、実技演習時以外は、2クラス（A/Bクラス）に分けて行う。チームでの検討・実施が中心となるため、授業開始時に示す事前学習および課題レポートを積極的に学習して、演習に臨んでほしい。

オフィスアワー・連絡先

実習指導で不在のことが多いため、事前にメールで連絡をしてから、お越しく下さい。

メールアドレス：
研究室：
オフィスアワー：